

## 深刻な 資金不足

1988年に35万件だったポリオ発症数も、2015年にはわずか100件を下回りました。発症数は99.9%減少し、大きな進展が見られていますが、撲滅活動はまだ終わったわけではありません。

### ポリオ再流行の危険

活動資金の不足によって、ポリオ感染の危険が高い国で予防接種率が低くなる可能性があります。一人の子どもから大勢の子どもに感染する危険があるポリオ。再流行が起きた場合、今後10年間に、毎年20万人以上の子どもがポリオによる身体まひの犠牲になると推定されています。

### 課題

撲滅実現に必要な15億ドルの資金を確保することが、現在の課題とされています。専門家は、2019年までに野生型ポリオウイルスの感染をゼロに抑え、「ポリオフリー」の認定を実現できると考えています。

### ポリオ撲滅を実現させるために

ロータリーは引き続き、ポリオプラスを通じて世界ポリオ撲滅活動を支援します。さらに、各国政府、非政府組織、企業に加え、一般の人びとからもポリオ撲滅への支援を確保する努力を続けていきます。

## ポリオ撲滅のために 力を貸してください

ロータリーと主要パートナー団体だけの力では、ポリオは撲滅できません。皆さまからのご支援があれば、天然痘に次いで、人類史上2番目の疾病撲滅を達成することができます。

### ご寄付

子どもたちを生涯ポリオから守るために

👉 [endpolio.org/ja/donate](https://endpolio.org/ja/donate)

### 募金活動

地域社会で募金活動を実施するためのリソース

👉 [endpolio.org/ja/resources-ja](https://endpolio.org/ja/resources-ja)

### 企業からの寄付を募る

記事、グラフィック、そのほかポリオに関する資料

👉 [endpolio.org/ja/resources-ja](https://endpolio.org/ja/resources-ja)

### アドボカシー

国会議員、ビジネスリーダー、ご友人にポリオ撲滅への支援を呼びかけてください

👉 [endpolio.org/ja/resources-ja](https://endpolio.org/ja/resources-ja)

### メッセージを広げよう

ソーシャルメディアを活用して、ロータリーのポリオ撲滅サイト ([endpolio.org/ja](https://endpolio.org/ja)) を、多くの人に紹介してください。

Rotary



伊豆中央ロータリークラブ

[izuchuo-rc.org](https://izuchuo-rc.org)

END  
POLIO  
NOW



子どもたちに  
ポリオ  
のない世界を

944-JA-(1215)

Rotary

BILL & MELINDA  
GATES foundation

ご協力ください: [endpolio.org/ja/donate](https://endpolio.org/ja/donate)

伊豆中央ロータリークラブ

[izuchuo-rc.org](https://izuchuo-rc.org)

## 「ポリオ」とは？

ポリオとは:ポリオ(急性灰白髄炎)は、ウイルス感染によって発症する病気です。ポリオウイルスは人から人へ感染し、最も多いのは汚染水を通じた感染です。感染した場合、ウイルスが神経組織へと侵入し、身体(特に下肢)の麻痺や、時には死にいたることもあります。特に5歳以下の子どもに感染する確立が高く、日本では「小児麻痺」とも呼ばれています。治療法はありませんが、安全なワクチンで予防が可能です。

現在のポリオ:現在も野生ポリオウイルスによる感染が続いているのは、アフガニスタン、ナイジェリア、パキスタンの3カ国のみとなっています。2012年に報告されたポリオの発症数は、世界で250件を下回っており、毎日約1,000件の発症が出ていた1980年と比べると、99%の減少となっています。この勢いを保ち、ポリオを完全に撲滅しなければ、今後40年間にポリオ発症数が1,000万件に跳ね上がると専門家は予想しています。

課題:残る1パーセントのポリオとの闘いが、最も困難であると言われています。これは、地理的な隔離、乏しい公共インフラ、武装紛争、文化的障壁といった要因が、予防接種活動の妨げとなっているためです。ポリオを撲滅するまでは、世界中の国

### ポリオを撲滅すべき5つの理由

- 1** 子供たちを守る: 撲滅ではなく予防だけを行うなら、ウイルスの再発生により、今後10年間に年間発症者20万人という以前の状態に戻る可能性があります。
- 2** 撲滅は実現可能: ポリオ予防に非常に効果のあるワクチンと、世界中すべての子どもにワクチン接種を行うための手段があります。
- 3** 投資効果: 医学誌『VACCINE』は、世界からポリオがなくなれば、その後20年間に得られる経済効果は400~500億ドルにも上ると推定しています。
- 4** 医療システムの強化: ポリオ撲滅活動を通じて、世界中に感染のサーベイランス(監視)ネットワークが築かれました。現在、このネットワークを利用して、はしかの予防接種のほか、虫下し剤や蚊帳の配給など、その他の疾病予防も行われています。
- 5** 世界的な公共保健活動のモデル: 世界すべての子どもにワクチンを投与することが可能であれば、公共保健における他の主要な取り組みも可能であることが実証されます。



### ロータリークラブの「ポリオ」への取り組み

ロータリーは1985年、世界からポリオを撲滅するため「ポリオプラス」を開始しました。以来、発症数は年間35万件から250件未満にまで減少しています。ロータリーはこれまでに12億ドル以上をポリオ撲滅に投入し、122カ国の20億人以上の子どもに予防接種するための無数のボランティア時間を捧げてきたほか、アドボカシー活動(政府や民間への働きかけ)を通じて、ドナー国政府から90億ドル以上の資金援助を確保する上で大きな役割を果たしてきました。ロータリーと協力組織は、今後も、撲滅を完全に実現するまで粘り強く活動を続けていきます。

今年、10月24日は世界ポリオデーです。あと少しに迫ったポリオの撲滅のため、伊豆中央ロータリークラブでは3回の「エンドポリオ募金活動」を行います。皆様方の御協力をお願い致します。

- ・第1回エンドポリオ募金 8月26日(土) 11:30~13:30  
修善寺駅
- ・第2回エンドポリオ募金 9月24日(日) 10:30~12:30  
修善寺駅
- ・第3回エンドポリオ募金 10月20日(金)  
ホテルサンバレー富士見